

## 第8回ビジネス講座「内航船におけるモーダルシフトの推進」

### ～旅客フェリー・RORO船の現状について～ 概要

日 時：平成30年6月4日（月）15:00～17:00  
会 場：横浜第2合同庁舎16階関東運輸局会議室  
講 師：商船三井フェリー株式会社  
取締役 加藤 勝則 氏  
参加者：66名



#### 【講演要旨】

第8回ビジネス講座では、商船三井フェリーで保有している旅客フェリー及びRORO船の概要、航路、当該船舶によるモーダルシフトの現状及び安全運航のための各種施策についてご講演いただきました。

冒頭、船舶による輸送によるメリット（定時制、冷凍冷蔵用の電源、輸送品質）について説明いただき、船舶におけるモーダルシフトについて、経済的な輸送ロット（20tトレーラー等）の大ロット貨物の減少、燃料費高騰による陸上輸送とのコストメリットの減少、陸揚げ港から目的地までの距離により海上輸送への期待が薄れる等今後改善が必要であること、また、ご自身の職務（統括運航管理者）の観点から、運航管理制度の歴史や各種安全の取組について、具体的な事例をご紹介いただきながらご説明いただきました。

#### 【質問概要】

- ・ 圏央道開通による物量の変化について
- ・ モーダルシフトに必要な港湾施設について
- ・ 荷主からのモーダルシフト需要の高まりについて
- ・ 救助艇の訓練における危険性について
- ・ モーダルシフトの推進にあたり、船会社が荷主に対して必要な情報について
- ・ 繁忙期、閑散期等の季節波動及び需要ピーク時における輸送対策について

#### 【参加者感想】

- ・ 本船情報をはじめ、データ収集方法など（ナウファス情報等）はじめて知ったものもあり、勉強になった。また海上職員の船の訓練も知れて勉強になった。
- ・ 旅客フェリー・RORO船について知らない事が多く大変勉強になった。
- ・ 今後モーダルシフト推進をさらに進めるためには問題がある事が分かった。
- ・ 船舶の安全面の話は大変興味深かった。